



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ・タンナ島

期間 2012年7月7日から16日

参加メンバー (上段左から) 山本喜代 (DA) JICA 池之上竹美 竹内恵利 (VO)

大西富子 (DH) 倉橋朋子 (DH)

(下段左から) ラッセル (DR) 沢田宗久 (DR) 関根淳 (DR)



活動内容

7月7日 (土)

18時30分関空組5名が関西空港からオークランドにむけて出発

7月8日 (日)

8時25分オークランドに到着 9時30分にポートヴィラにむけて出発

12時に到着し荷物検査後、入国。空港でローリー氏に迎えられホテルに移動
ロビーでDR 沢田とローリー氏がミーティング。

夜に別便の DR 関根が到着。メンバー6人が揃い、この日はホテル宿泊。

7月9日（月）

10時25分ポートヴィラを発ち、11時過ぎにタンナに到着。迎えの車がくるのをしばらく待ち[病院で急病人がでたため、今回担当のサイモンがヴィラに同行することになり、バタバタしていた為]、病院にむかう。宿泊所と診療所に分かれて準備を行なう。

メンバーが少ないうえに、女性が多く荷物を運んだり、準備をしたりするのが大変だったが、各々が無駄なく動き、どうにかその日のうちに準備できた。

倉庫に保管していた冷蔵庫のコードが、ねずみにいたずらされていて、修理をして使用できるようになった。

台所用品が数点、不明になっていたが代用品を使うようにしてしのぐ。

DR 沢田はヴィラに残り、WHOの事務所でドネーション（テント、石鹸、タオル、サッカーボール、鉛筆、帽子）をして、政府とミーティングをする。



7月10日（火）

DR 関根 DH 大西 DH 倉橋 DA 山本 VO 竹内が診療所で治療を開始。

昼過ぎに DR 沢田が合流。

午後から、DR 沢田 DH 倉橋 DA 山本 VO 竹内がレナケル小学校へ行き、ドネーション（クレパス、でんでん駒、歯ブラシ）し、歯ブラシで磨く練習をしてチェックアップする。

レナケル小学校のみんなが、国歌や校歌、JDMのようにきれいな歯の3曲を歌ってくれた。大合唱してくれて、胸いっぱいになり涙をこらえるのに必死だった。

DR 関根と DH 大西が診療所で治療・クリーニングを行なう。

17時頃 JICA 池之上と DR ラッセルが到着。夕食をとり、その後ミーティングをする。

ヴァヌアツ親善大使の相川さんと VO スタッフのジミーが小学校や診療所を取材。



7月11日（水）

DR 沢田 DH 倉橋 VO 竹内 JICA 池之上がディバイン小学校へ行き、歯ブラシとサッカーボール、バレーボールをドネーションした。

エプロンシアターで、むし歯の話をして、歯磨き練習、チェックアップ。数人ピックアップするが、病院までは遠く、近くにティミーがいるので、彼に任せることになった。

2校の予定だったが、トゥフー小学校はスポーツフェスティバルの為不在。

診療所は DR 関根 DR ラッセル DH 大西 DA 山本が診療を行なう。



7月12日（木）

DR 関根 DH 大西 JICA 池之上がトゥフー小学校へ行き、歯ブラシとサッカーボール、バレーボールをドネーションした。

前日と同じようにエプロンシアターと歯磨き練習、チェックアップし、治療が必要な生徒をピックアップし、明日先生が連れてきてくれることになった。

診療所は DR 沢田 DR ラッセル DH 倉橋 DA 山本 VO 竹内が診療を行なう。



7月13日（金）

DR 沢田 DR 関根 DR ラッセル DH 倉橋 DA 山本 VO 竹内が診療する。

DH 大西 JICA 池之上がヤピルメイ小学校へ行った。

前日と同様で、その後ピックアップした生徒をつれて診療所へ帰ってきた。

午前の診療も長引き、昼ごはんを食べ始めたときに、ヤピルメイの生徒がやってきて、流し込むようにご飯を食べて、すぐ診療所に戻り治療を行なう。

レナケル、トゥフー、ヤピルメイの学校のピックアップされた子供達が治療に大勢やってくる。

レナケル小学校にでんでん駒の作品を受け取りに行った。

夜にヤスール火山の見学に行くが、火山活動が活発のため入山禁止、第2駐車場から見学するがそこから見ても迫力のある噴火に圧倒される。

ヤスールへむかう道も少し舗装されたところも多くなっていた。

安全運転してくれた病院スタッフの運転手ルーベンに感謝。

宿舎に帰り、夕食後タンナ最後のミーティング、各々の感想、今後の診療に必要なものなど多くを話し合い就寝。



7月14日(土)

朝から診療所と宿舎と分かれて後片付けをする。

9時 DR 沢田 Dr ラッセル JICA 池之上 イオ氏がミーティング。

昼前に後片付けを終え、病院から空港へ。途中、故田代さん(元 JDM メンバー)のセレモニーを行い、空港近くでランチ。空港に向かう頃、雨が降り始め、タンナ島との別れは、雨で締めくくられた。

空港で飛行機を待つ間に、ヴィラからタンナ島の便に日本人観光客が数人いて、話をするとヤスール火山の観光に行くとのこと。元気な紳士、淑女であった。

手書きの航空チケットを見ると、同じ座席番号が2つある…と、最後にタンナらしいほのぼのした空港スタッフに、このまま変わらずにいて欲しいと思い、タンナをあとにした。

17時30分ヴィラに到着後、ホテルにチェックイン。DA 山本が体調を崩す。DA 山本はホテルで休憩し、他のメンバーは近くの食堂で夕食をとる。

7月15日(日)

朝から DR 沢田 DR 関根 VO 竹内 ローリー氏がミーティングを行なう。

13時ヴィラからオークランドにむけて出発、17時オークランドに到着 ホテルに宿泊。

DR 関根はニューカレドニア経由で帰路に着いた。

7月16日(月)

8時25分オークランドから成田にむけて出発、17時55分成田から伊丹へ。

19時10分伊丹に無事到着、解散式後解散。

データ

	7/10	7/11	7/12	7/13	総数
抜歯	11	2	7	15	35本
CR	3	6	8	6	23本
セメント	11	6	2	41	60本
スケーリング	8	9	17	8	42人
チェックアップ	6	1	1	0	8人
シーラント	4	0	0	1	5本
OPEN	1	0	0	0	1本
TBI	1	0	8	0	9人
HYS	0	6	0	0	6人
切開	0	0	0	1	1人
受信者数	24	16	27	43	110名

学校健診数

レナケル	ディバイン	トゥフー	ヤピルメイ	総数
174	111	129	92	506名

リーダーの総括

今回のJDMの活動は歯科医師2名、衛生士2名、ボランティア2名、総勢6名で、7月7日から16日まで10日間の日程で行いました。

関空からオークランド経由で首都ポートヴィラに到着、関根淳さんは成田からニューカレドニア経由で夜10時頃我々と合流しました。

ボランティアとして初参加の竹内恵利さんはアメリカのオハイオ州の大学の留学生で、歯科医師を目指しておられます。今回は主に通訳、Drのアシスタント、機材の準備等をして頂き、大変助かりました。

昨年、ヴァヌアツ政府の保健省と教育省とのミーティングの際、ウォッシュプロジェクト（手洗い）とウォータータンクプロジェクトについて話し合いました。その結果、今回、大阪船場ロータリークラブの有志の方々のご支援でタオル・石鹸・子供服・サッカーボール・帽子・テント・鉛筆等を寄付することができました。7月9日、ポートビラのWHO事務所で贈呈式を行いました。その様子はインディペンデンスウィークリー新聞や現地のTVニュースで報道されました。

9日から14日までタンナ島で活動しましたが、今年は特にヤスール火山の活動が活発で、50km以上離れた飛行場まで火山灰が降ってきました。

今回気づいたことは、患者の多くが歯のクリーニングを希望するようになってきていることです。毎回歯ブラシのドネーションを行うことによって、島民の歯への関心が高まっています、歯のチェックとオーラルヘルスケアは益々必要となってきました。また、今回も何度も「入れ歯を作れないか？」と質問されました、島民の多くは入れ歯作成を希望しています。沢山の歯科技工士の参加を心待ちにしています。

今回はマンパワーの関係で4校しか外回り（検診・TBI・ドネーション）ができませんでしたが、口腔内を検診すると、以前JDMチームが予防、充填していたシーラントがきちっと残っている状況でした。この結果、今後予防処置に充填を置き、活動していく必要があると考えられます。

八尾市立南山本小学校とラナケル小学校との文化交流の面では、毎回違った企画を考えています。今回はブンブンゴマで交流をはかりましたが、現地ではブンブンゴマは珍しく大変好評でした。

今回は参加メンバーが少なかったのですが、それぞれのバイタリティを發揮して、多くの成果を上げることができました。皆様に感謝申し上げます。

沢田